

主催 (公社)東京都助産師会世田谷目黒地区

第2弾 防災プロジェクト  
母と子を守るために誰と何ができるのか

助産師が紡ぐ

# 地域防災

～医療者として何もしないでいられるのだろうか～

## 地域助産師 震災リアル奮闘記

誰だって  
災害時の一線に立つ  
可能性がある

日時: 2017年10月14日(土)

時間: 13:30～15:30(開場 13:00)

会場: 国立成育医療研究センター 研究所2F セミナールーム

定員: 100名

参加費: 2000円(助産師会員1000円) 対象: 医療関係者

講師: 山形県助産師会会長  
エンゼル助産院院長

齋藤 範子 先生

2011年3月11日 山形県も大きな地震に見舞われました。  
ライフラインの復旧もままならない中、沿岸地域からの避難者を受け入れた山形県  
穏やかな日常が一変し、最前線に立たざるを得なかった齋藤先生。何がおこり・どう対処したのか？誰とどの様に連携したのか？どの様な知識が必要か？  
綺麗ごとではない、生のお話を伺います。

1994年国立仙台病院附属看護助産学院助産婦科卒業  
山形済生病院勤務を経て  
2005年4月山形市青田に「エンジェル助産院」開設  
2010年～山形県助産師会会長

主催:(公社)東京都助産師会 世田谷目黒地区分会  
共催:国立研究開発法人 国立成育医療研究センター  
お問い合わせはこちらへ [soumu@ncchd.go.jp](mailto:soumu@ncchd.go.jp)

お申し込みはこちら ▶▶▶

